

## アコと人生…この人にインタビュー《第12回》「三上<sup>よしこ</sup>淑子さん」

今回は、うたごえ喫茶「ふる里」のアコーディオン合奏講座に所属の「三上淑子」さんを紹介いたします。練習日の5月21日(土)JR「八王子」駅北口から徒歩7分くらいの練習会場「ふる里」に関東アコの実行委員長などと記者の三人でお邪魔し、練習終了後の時間をいただき午後5時半ごろからアコーディオンとの出会いや音楽と人生について語っていただきました。途中うたごえ喫茶が始まり、“うたごえ”の中での和やかな取材となりました。

◎練習後休憩も取らずにすみません。今日は楽しみにしていますのでよろしくお願いします。

早速ですが、生まれはどちらでしょうか。

③愛媛県松山市で生まれ育ち、結婚を期に東京(世田谷)へ出てきました。現在は多摩市に住んでいます。

**＝“うたごえ喫茶”ふる里は今年で開店11年目になる＝…アコとの出会い**

開店半年後の頃、私の地元で合唱団に入っている友達が私をここに連れてきてくれました。当時「ふる里」では金曜日は昼間もうたごえ喫茶を開いていました。

“うたごえ”が終わってから井上正志先生(ふる里アコ合奏講座主宰者、お店のオーナーでもある)が『この後アコーディオン合奏の練習がありますよ』『アコーディオンも1台ありますよ』って声を掛けてくださった。『じゃあ、私練習して帰るわ』と、それが出会いでした。その日のうちに合奏講座の仲間に入れていただき、毎週通うようになり今年で10年になります。あの時先生が声を掛けてくださらなかったら入っていなかったかも知れませんね。(写真は、昨年合奏講座の仲間の奥様のコンサートで演奏したときのスナップ、会場は労音会館)



習い始めの頃は金曜日(初級者クラス)と土曜日(経験者クラス)に分かれていましたが、途中から合奏なので一緒に練習した方がいいという意見があつて一つになりました。練習時間は午後3時～5時の2時間ですが延びることが多いですね。

**＝最初の練習曲は「山のロザリア」＝**

最初に練習した曲は、うたごえ喫茶でよく歌われていた「山のロザリア」でした。3パートに分かれていて3人で取り組んだ思い出の曲です。1年間に取り組める曲は10曲位かな、覚えたかなと思うと、少し難しく編曲し直した譜面を渡されることもあります。

**＝音楽の基礎は小学校で受けた＝**

◎途中止めようかなと思ったことは無かったです。

それが不思議ですね、来週東京で小学校のクラス会をやるんですけど、集まると必ず誰かが言うんですね、「故、久米孝義先生が私達にしっかり音楽の基礎を教育してくれたね」って。それがあから続けられるんだと思います。

シンコーペーションも小学校で習った。バッハ、ヘンデル、ハイドン、モーツァルトなど曲との関係も試験に出ていたから今でも覚えています。

自分の子どもが小3のとき東京でラジオを聞いていたら全国小学校音楽コンクールで、その久米先生が指揮をして全国1位になってびっくりしました。叱る訳でもないし、厳しくする訳でもないけど何か特別な教え方があったのか毎年高い評価を受けていたようです。私達も当時“和製ベートーベン”と呼んでいました。

**＝久米孝義先生(音楽専科)との出会い＝**

私は愛媛大学教育学部付属小学校に通ってました。学校にはグランドピアノが1台、アップライトピアノが1台ありました。(こう話すと皆さんびっくりされる)低学年の頃、何故か私に学校が始まる1時間前に来なさいと久米先生が声を掛けて下さった。自分はグランドピアノを弾くからあなたはこっちのピアノで練習しな

さいと言ってアップライトピアノを使わせてくださいました。

特別何を見えてくれるわけでもないけど、気になるのか時々チラッ、チラッと聴いてくれていて、出来たら「ハイ、良し」っていう感じでした。バイエルの90番当たりでバイエルはもういいからツェルニーやソナチネをやりなさいと言われツェルニーへ進んだ頃、私が授業前に練習していることを知った男の子が、私より早く来てアップライトピアノを弾くようになったんです。学校のピアノだし、来ないでもいえないし、ピアノを続けられなくなり、悔しかったけれどそれからずーと遠ざかってしまいました。

久米先生がせっかくそこまで気に掛けて下さったのに申し訳なかったなあという思いは私のどこかにずーとあったんですね。だから今続けていられるんだろうと思います。

### =「浜辺のうた」だけは家で歌ってもOK=

父は教師で週に何日か学校へ行く他は自宅で勉強していました。そんなこともあってか、母は家で歌なんか歌っていたら怒っていました。祖母も「歌を歌うならちゃんとしたところで先生について歌いなさい」っていう感じで、鼻歌なんか歌ったら怒られました。そういう中で父が好きな「浜辺のうた」だけは歌っていても怒られることはなかったです。

そんな家庭だったので、コンサートや演奏会に連れて行ってもらったこともありませんでした。

### =「ふる里」で火がついちゃった=

友達がうたごえ喫茶に連れてきてくれたことで火がついちゃった。“歌の伴奏がいい”と言う方もいるけど私は合奏の方が好きです。多分、小学校でレコード鑑賞の時間があってクラシックの曲をたくさん聴いていたことと関係があるように思います。ですから合奏講座はちょうど良かったんです。

最初は持ち方もわからなかったし、左手コードの「C」もわからなかった。井上先生は怖かったのでピアノを弾いていた仲間の人に「C」って何ですかと聞いていました。10年も経つと平気で言えるけどはじめは怖かった。井上先生が「お

前は俺のこと怖いのか」と言うから「ハイ」って言って避けて通っていました。

### =仲間を増やして長く続けたい=

5~6年前に夫が脳内出血で入院し、今、家中では歩けますけど一人ではどこへも行けない要介護3です。実家の母も高齢で心配です。そんな中で休まず練習に来ているんだからアコーディオンは嫌いではないですね。

一時、本当に忙しくて主人のケアマネージャーにアコーディオン止めようかと思っているって話したこともあります。そうしたら「止めない方がいい」と言われました。今思うと手術した病院がとても良い病院だったと思います。当時はそれ程大事なことは思えなかったけれど“一人で留守番できることを目標”にリハビリを組んでくださったおかげで食事の支度などすることをしておけば私も出歩くことは可能なので、あのリハビリの目標は大事なことでしたね。

お店では“うたごえタイム”の中で「おい、練習だから弾け」って、先生から呼ばれてバックで弾く事もあります。でもどちらかというと先ほども話したように合奏の方が好きです。ここは楽器を置いて置けるので助かります。家での練習用にもう1台持っていますがそれも仲間からいただいた様なもので仲間の皆さんに感謝しています。



愛媛県で生まれ育ったせいか「みかんの花咲く丘」のリクエストが入ると何故かステージに上がって歌ってしまいます。(写真は取材終了後、うたごえタイムで「みかんの花咲く丘」を歌う三上さん)

### =健康でなくちゃ続けられない=

◎今年1月から、その日の体調に合わせて1時間くらい歩いているせいか、身体の調子も良いのでまだ続けられそうです。また、現在女性は二人なのでもう少し増やしたいとおっしゃっていた三上淑子さんでした。

《文責：乙津》